



リーゾンしまね

Reason Shimane

しまねの自然で伸び伸びと

子育て

しまねで
伸び伸びと子育てする
夫婦をご紹介します。
子どもたちは
地域の人に見守られ
自然の中で自由に遊ぶ。
そんな豊かな生活が
ここにはあります。



東京
吉賀町
イターン

農業と暮らしが
一体化した
暮らしがしたい

「大きな川と山がある風景の場所がいい」と
研修で訪れた吉賀町柿木村へ移住

持田杏奈さん(吉賀町、34歳)



東京生まれ、東京育ちの持田杏奈さん(34)は、農業に憧れがあった。北海道の東京農大網走キャンパスで昔ながらの有機農業に魅せられ、援農で全国の有機農家を巡るうちに興味が深まり、島根大学の大学院に進んで研究を続けた。

いったん農業関連の会社に就職したが、「やっぱり農業と暮らしたい」と思い、3年で退職し、移住先を探し始めた。漠然と「大きな川と山がある風景の場所がいい」と考えていたことから、研修で訪れたことがあった吉賀町柿木村がまず思い浮かんだという。下見に来て、「ミダ」と確信。「衣食住がつながった昔ながらの暮らしができる」とわくわくした。

子どもたちも地域の中で育ててもらっています

移住後間もない2013年、先に松江市から就農移住していた

港さん(34)と出会った。「炭焼きをしているのがいいな」と思い、私の方から猛アタックしました」と笑う杏奈さん。2年後に結婚。長女の梅ちゃん(4)、次女の種ちゃん(0)が誕生し、家族4人の生活がスタートした。

夫婦共働きのため保育所が心配だったが、都会のような待機児童もなく、杏奈さんは移住直後から農産加工組合でみそや梅干し、餅などを製造する仕事を続け、昨年からは森林組合に勤務する港さんは山仕事を任せ、2反弱の田んぼを借りて、夫婦2人で有機栽培のトマトづくりも始めた。

一家の暮らしを支えるのは、地域のみなさん。家族ぐるみで付き合うイターンの仲間たちだ。毎日のように野菜や手作りのおかずが届き、子どもを預かってもらうなど、子育ての支援も心強い。



サトちゃんと呼ぶ斎藤定子さん(76)は移住当初からお世話になっている職場の先輩。野菜や山菜を分けてくれ、子どもたちを孫のように可愛がってくれる。斎藤さんは「私の方がお子さんたちの声に元気をもらっていますよ。町に若い家族が増えるのはいいこと。できることはしてあげたい」と目を細める。

杏奈さんは「この町は優しい気持ちや声や手がたくさんある場所です。血縁もなく、夫婦だけでは行き詰まっていたかもしれませぬ。子どもたちも地域の中で育ててもらっています」と話す。

**2年かりで古民家を改修
たくさんのごだわりが散りほめられた新居**
2019年11月には念願の新居が完成。高津川支流・福川川の近く、坂道を上ったつき当たりにはポツンと建つ築100年超の空き

家を見つけ、9年かりで改修した。杏奈さんが思い描いていた川の近く、正面には季節で姿を変える山の景色が広がるロケーションだ。

古い梁や柱、建具を残し、港さんが壁の漆喰を塗った。家の真ん中には家中を暖める大きな薪ストーブ。無垢材のちゃぶ台や食器棚。壁にははめ込んだガラスはインターンの仲間や職人や作家の作。壁2面の本棚は、山から集めてきた皮が付いたままの木で棚を作った。姉妹は絵本を読み聞かせてもらうのが大好きだ。

庭に山の湧き水を引き込み、丸太が椅子代わりに、庭で港さんが薪割りをする横でお茶を飲んだり、近所の山道を散歩しながら野イチゴや野草を摘んだり、木の枝や松ぼっくりを拾い集めて工作の材料にする。クリスマスツリーも山の木で手作りする。



※取材、撮影は、新型コロナウイルス感染症対策を行った上で実施しました。感染症対策に配慮した上で、一部マスクを外して撮影しています。

「都会のような遊び場はないけど、ここには自然の中で楽しめる素材がたくさんある。やりたいことがたくさんあるから、我が家はテレビがないです。今の暮らしには必要ないかなと思っています」
**これからの夢 地域への恩返し
有機栽培の田んぼで子どもの居場所づくり**
昨年、自家の田んぼで地域の子どもたちに田植えや稲刈り、はで干しの作業を体験してもらった。今春には自宅の庭先で、収穫したお米でおにぎりの会を催す計画だ。
「子どもたちも親も楽しく交流して、個々があれば相談できる場をつくりたい。思い付いたことはどんどん挑戦したいし、自分ができることで地域に恩返しができるばいいな」と杏奈さん。大好きなこの町での生活に夢は膨らむばかりだ。

育児中の女性の有業率
81.2%
全国1位
(H29年就業構造基本調査)

合計特殊出生率
1.68
全国3位
(R元年人口動態統計)

保育所待機児童数
0人
(R元年県調べ)

保育所数
人口10万人あたり
全国2位
(社会生活統計指標2020)

軽自動車普及率
世帯あたり
全国4位
(H30時点 全国軽自動車協会連合会)

一般診療所数
人口10万人あたり
全国2位
(社会生活統計指標2020)

しまねの魅力
子育て編

しまね縁結びサポートセンターのサイトはコチラ
<https://www.shimane-enmusubi.com>



8面に子育てや縁結びをサポートする窓口について紹介しています。

仕事をしながら「子どもをもう1人育てたい」という希望も叶えやすい環境です。自家用車を持ちやすく、通勤途中に保育所の送り迎えもできるので、雨の日でも快適です。